



2024年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年2月14日

上場会社名 株式会社アスモ 上場取引所 東
コード番号 2654 URL <http://www.asmo1.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長井 尊
問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長代理 (氏名) 岩出 雄介 (TEL) 03-6911-0550
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日 配当支払開始予定日 —
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日~2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	15,473	3.7	460	97.8	498	78.3	296	125.0
2023年3月期第3四半期	14,920	4.2	232	△53.2	279	△47.4	132	△59.1

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 301百万円(99.9%) 2023年3月期第3四半期 150百万円(△55.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	22.06	—
2023年3月期第3四半期	9.80	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年3月期第3四半期	9,497	6,482	67.8
2023年3月期	8,903	6,315	70.5

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 6,443百万円 2023年3月期 6,273百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2024年3月期	—	0.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日~2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	20,500	3.9	600	80.2	630	63.2	370	81.4	27.48

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期3Q	15,145,175株	2023年3月期	15,145,175株
② 期末自己株式数	2024年3月期3Q	1,680,693株	2023年3月期	1,680,613株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期3Q	13,464,501株	2023年3月期3Q	13,464,561株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び実績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
第3四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	9
第3四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(追加情報)	10
(セグメント情報)	11
(収益認識関係)	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に関する行動制限の緩和による経済・社会活動の正常化を背景に、インバウンド・個人消費の持ち直しと雇用情勢の改善により、緩やかな回復基調が続きました。一方、円安の進行による物価上昇、ウクライナ情勢の長期化及び中東情勢の深刻化による地政学リスクの高まりや、世界的な金融引き締めの影響による景気減速など、国内、海外の経済ともに依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況の中、当社グループの状況につきましては、ASMO CATERING (HK) 事業では低迷する香港経済の影響を受け依然として厳しい状況が続きますが、個人消費の持ち直しやインバウンド需要を取り込んだアスモトレーディング事業、主要顧客である高齢者施設の利用者数が引き続き回復傾向にあるアスモフードサービス事業およびアスモ介護サービス事業においては、好調に推移いたしました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高15,473百万円（前年同四半期比3.7%増）、営業利益460百万円（前年同四半期比97.8%増）、経常利益498百万円（前年同四半期比78.3%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は、296百万円（前年同四半期比125.0%増）となりました。

売上高においては、いずれの事業も社会経済活動の正常化を受け、前年同四半期実績と比較して増加しております。利益面においては、アスモトレーディング事業では円安による海外からの商品調達コストの上昇、ASMO CATERING (HK) 事業では補助金廃止により減少しております。アスモフードサービス事業およびアスモ介護サービス事業では主要顧客である高齢者施設の利用者数の回復を主要因として、値上げ交渉および原価コントロールの徹底、コロナ感染対策費の縮小、人件費と販管費の見直しにより好調に推移いたしました。

今後におきましても、各事業の状況に応じて売上高の拡大や利益率の改善を推し進めることで、更なる業績向上に向けグループ一丸となって邁進してまいります。

セグメントごとの状況は次のとおりであります。

セグメント名称 (セグメントに該当する会社)	主要な事業の内容
アスモ事業 (株式会社アスモ)	グループ会社の統制・管理、不動産賃貸
アスモトレーディング事業 (株式会社アスモトレーディング)	食肉の輸入、食肉及び食肉加工品の販売
アスモフードサービス事業 (株式会社アスモフードサービス) (株式会社アスモフードサービス東日本)	高齢者介護施設等における給食の提供
アスモ介護サービス事業 (株式会社アスモ介護サービス) (株式会社アスモライフサービス)	訪問・居宅介護事業所の運営、有料老人ホームの運営
ASMO CATERING (HK) 事業 (ASMO CATERING (HK) CO., LIMITED)	香港における外食店舗の運営、食品加工販売
その他	(ASMO CATERING (TAIWAN) COMPANY LIMITED) 台湾における外食店舗の運営 ※事業を休止中

① アスモトレーディング事業

アスモトレーディング事業におきましては、海外では、世界的なインフレにより、世界各国からの輸入食肉の価格に影響を及ぼしているため食肉の輸入量が減少しております。国内では、昨年よりも断続的な円安により食肉価格の高騰が続き、販売価格への価格転嫁が難しい中で販売を行ってまいりました。このような状況の中、ウィズコロナへの移行によるクリスマスなどの特需は戻ってきていたため、結果として販売高は増加となりました。

また、国内通販事業部門においては、お歳暮などの贈答需要は少し陰りが見えており、提案件数を増やすべく展示会の参加による新規取引先企業への獲得を行っておりますが、販売高は減少となりました。

費用面に関しては、人件費の高騰に加え、展示会参加費用が増加したことにより、営業利益は昨年と比較して減少となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、3,443百万円（前年同四半期比5.2%増）、セグメント利益（営業利益）は63百万円（前年同四半期比24.2%減）となりました。

今後におきましては、円安基調と物価上昇による消費者の生活防衛意識の高まりなどで厳しい環境が予想されますが、お客様にあった商品の提案を行い、安定的な商品の供給を継続すると共に、販路拡大と業績の向上に専念してまいります。

② アスモフードサービス事業

アスモフードサービス事業におきましては、前四半期報告に継続して、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行したことを背景に、高齢者施設の入居率や介護サービス利用者数が回復傾向にあり、給食提供数が増加の一途をたどっております。

また仕入先との価格交渉や商談も非対面から対面で実施するケースが増え、営業活動が活発化した結果、原材料費の削減に成功しております。しかしながら依然として物流費の価格高騰が継続することに加え、慢性的な人手不足による人件費が増加にあり、事業環境は厳しい状況が続いております。

そのような状況下の中、新規受託先の開拓や、既存受託先に対する食材費単価の値上げ交渉に取り組み、売上高の底上げを図り、材料費の抑制等徹底したコストコントロールを行うことで利益確保をしております。

また、慢性的な人員不足を解消するため、社員教育に注力すると同時に、採用においても賃金アップや社宅完備など福利厚生を手厚くした求人募集を行うなど差別化を図り、運営安定に努めております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、5,876百万円（前年同四半期比4.2%増）、セグメント利益（営業利益）は238百万円（前年同四半期比40.8%増）となりました。

引き続き、原価管理の徹底に加え、新規受託施設を増やすべく営業活動に取り組むことで収益力の向上に努めてまいります。

③ アスモ介護サービス事業

アスモ介護サービス事業におきましては、訪問介護事業所、居宅介護支援事業所、有料老人ホーム運営事業及び介護タクシー事業を営んでおります。業界全体としては、新型コロナウイルスならびにインフルエンザ等の感染症対策の徹底を図りながら、ご利用者様、ご入居者様の日々の生活をお守りする事に努めております。そのような状況の中で、引き続き新規入居者獲得活動も精力的に取り組んだ結果、訪問介護事業所、居宅介護支援事業所のご利用者数、ならびに有料老人ホームのご入居者数を順調に伸ばすことが出来ました。

これにより当第3四半期連結会計期間末現在、訪問介護事業所36事業所（前年同期末は36事業所）居宅介護支援事業所12事業所（前年同期末は12事業所）となり、支援させていただいておりますご利用者様（※）は1,996名（前年同期末は1,881名）となりました。また、有料老人ホーム7施設（前年同四半期末は7施設）のご入居者は378名（前年同四半期末は324名）となりました。（※）介護タクシーでの介護保険利用者を除く

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、4,270百万円（前年同四半期比2.7%増）、セグメント利益（営業利益）は360百万円（前年同四半期比176.0%増）となりました。

今後におきましては、更なる介護需要を取り組む事に注力していくと共に、充実した雇用環境を創ることで、より良い人材の確保と定着率向上に努め、介護サービスの更なる質の向上を図ってまいります。

④ ASMO CATERING (HK) 事業

香港では、第1四半期会計期間に一時期見られたコロナ禍からの回復基調が第2四半期会計期間の終盤あたりを境に明らかに減速し、当第3四半期連結累計期間における飲食店舗部門の売上高は、コロナ禍から脱しきれていなかった前年同四半期からも20%下回る955百万円となりました。※連結財務諸表注記(収益認識関係)参照

飲食店舗部門売上高減少の主要因としては、2018年度以降の政治的混乱を機に多くの香港市民がイギリスやカナダ等の西側諸国に移民していることに加え、人民元と香港ドルの変動によりここ十数年で最も香港ドル高になり、香港ドルで収入を得ている香港人が中国に入境し、中国元に両替して消費した方が有利なこともあり、特に週末などに中国本土で過ごす香港人が急増し、街中の人流が大幅に減少していることが挙げられます。

また、コロナ禍において、外食比率が非常に高かった香港人の食習慣が一変して内食を選択する人々の増加を受け食品スーパーが急増し、アフターコロナにおいては明らかに食品スーパーが過剰になっていることにより、食品スーパー内にある当社の『匠工房秀吉』や『Japanese delicatessen彩』などの店舗が苦戦を強いられています。

一方、食品加工販売部門では毎四半期順調に売上を伸ばし、前年同四半期比42.1%増の925百万円となりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、1,880百万円(前年同期比1.9%増)、セグメント損失(営業損失)は42百万円(前年同四半期はセグメント利益2百万円)となりました。

香港の外食業界は採用難が続いており、小ロットに対応できる当社のOEM食品加工に対するニーズは本物志向である日系レストラン各社において特に高く、今後も受注量の増加が見込まれます。そのようなニーズに応えるため、セントラルキッチンでは加工場の拡張工事を計画しております。引き続きマーケットの状況を見極めながら店舗部門と食品加工販売部門のバランスを取り、効率的な収益体制の確立に取り組んでまいります。

⑤ その他の事業

その他セグメントに含まれておりますASMO CARTERING (TAIWAN) COMPANY LIMITEDは2019年3月を期末とする連結会計年度以降、事業を休止しております。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間のセグメント損失(営業損失)は0百万円(前年同四半期はセグメント損失0百万円)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 財政状態の分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における総資産は9,497百万円となり、前連結会計年度末に比べ593百万円増加いたしました。これは主に現金及び預金が312百万円、受取手形及び売掛金が295百万円、前払費用が50百万円、差入保証金が44百万円増加し、未収法人税等が25百万円、繰延税金資産が48百万円、リース資産が31百万円減少したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は3,014百万円となり、前連結会計年度末に比べ427百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が245百万円、未払金が189百万円、預り金が81百万円、前受収益が48百万円増加し、賞与引当金が75百万円、未払法人税等が76百万円減少したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は6,482百万円となり、前連結会計年度末に比べ166百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が162百万円、為替換算調整勘定が11百万円増加し、非支配株主持分が3百万円、退職給付に係る調整累計額が3百万円減少したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は67.8%(前連結会計年度末は70.5%)となりました。

前連結会計年度末に比べ債権は増加しておりますが、年末年始を繁忙期とする事業の債権など季節的な変動が主であり、また利益剰余金の増加が現金及び預金の増加に反映していることから、順調な増減であると認識し

ております。

資本の財源につきましては、当社グループの運転資金・設備投資について一部連結子会社で一時的な借入を行うことがあります。基本的には自己資金により充当しております。当第3四半期連結会計期間末の有利子負債残高は、短期借入金46百万円とリース債務65百万円であり、前連結会計年度末と比較して6百万円減少しております。

現金及び預金の当第3四半期連結会計期間末残高は5,401百万円であり、資金の流動性は十分に確保できております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

最近の業績動向を踏まえ、2023年11月9日に公表いたしました通期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本四半期決算短信と同日に開示しております「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。なお、配当予想に変更はございません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,088,644	5,401,398
受取手形及び売掛金	2,026,459	2,321,782
商品	388,332	376,095
貯蔵品	13,895	13,787
その他	272,300	334,849
貸倒引当金	△795	△3,696
流動資産合計	7,788,836	8,444,217
固定資産		
有形固定資産		
その他(純額)	192,850	153,272
有形固定資産合計	192,850	153,272
無形固定資産		
その他	11,467	6,145
無形固定資産合計	11,467	6,145
投資その他の資産		
その他	1,447,954	1,451,442
貸倒引当金	△537,626	△557,963
投資その他の資産合計	910,328	893,478
固定資産合計	1,114,647	1,052,897
資産合計	8,903,483	9,497,115

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	653,728	899,613
短期借入金	14,570	46,460
未払法人税等	129,497	53,019
賞与引当金	216,040	140,209
その他	1,258,654	1,588,997
流動負債合計	2,272,490	2,728,300
固定負債		
退職給付に係る負債	253,806	256,431
その他	61,379	30,022
固定負債合計	315,186	286,454
負債合計	2,587,676	3,014,754
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323,272	2,323,272
利益剰余金	4,150,346	4,312,681
自己株式	△340,870	△340,899
株主資本合計	6,132,748	6,295,054
その他の包括利益累計額		
繰延ヘッジ損益	△474	△507
為替換算調整勘定	137,447	148,523
退職給付に係る調整累計額	3,844	628
その他の包括利益累計額合計	140,817	148,644
非支配株主持分	42,241	38,662
純資産合計	6,315,806	6,482,361
負債純資産合計	8,903,483	9,497,115

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年4月1日 至2023年12月31日)
売上高	14,920,585	15,473,962
売上原価	12,157,873	12,485,684
売上総利益	2,762,712	2,988,278
販売費及び一般管理費	2,530,076	2,528,073
営業利益	232,635	460,204
営業外収益		
受取利息	5,748	5,402
為替差益	16,189	13,124
助成金収入	24,255	21,077
その他	6,595	3,297
営業外収益合計	52,789	42,901
営業外費用		
支払利息	2,566	1,614
貸倒引当金繰入額	3,066	2,334
その他	160	509
営業外費用合計	5,793	4,458
経常利益	279,632	498,648
特別利益		
関係会社株式売却益	26,266	—
特別利益合計	26,266	—
特別損失		
固定資産売却損	—	924
固定資産除却損	2,795	—
特別損失合計	2,795	924
税金等調整前四半期純利益	303,102	497,723
法人税、住民税及び事業税	122,872	159,452
法人税等調整額	42,663	47,902
法人税等合計	165,536	207,354
四半期純利益	137,566	290,368
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	5,552	△6,612
親会社株主に帰属する四半期純利益	132,014	296,981

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	137,566	290,368
その他の包括利益		
繰延ヘッジ損益	△1,556	△32
為替換算調整勘定	12,884	14,108
退職給付に係る調整額	1,811	△3,215
その他の包括利益合計	13,139	10,860
四半期包括利益	150,705	301,229
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	142,383	304,807
非支配株主に係る四半期包括利益	8,322	△3,578

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動)

重要な異動はありません。

なお、当第3四半期連結累計期間において、企業構造のスリム化により経営効率の向上を図ることを目的として、当社の連結子会社である株式会社アスモフードサービスを吸収合併存続会社、株式会社アスモフードサービスの子会社である株式会社アスモフードサービス首都圏、株式会社アスモフードサービス中日本、株式会社アスモフードサービス西日本を吸収合併消滅会社とする吸収合併を行っております。

当該合併は当社の100%子会社による孫会社の吸収合併であるため、四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

当社グループを取り巻く経営環境について、新型コロナウイルス感染症の影響継続が、当社グループにおける一部の事業の業績に影響を与えております。

しかしながら、このような状況は長期的には回復に向かうと見込まれるため、当社グループ全体の業績に与える影響は限定的なものと仮定し、固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性の会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	アスモ 事業	アスモトレ ーディング 事業	アスモフー ドサービス 事業	アスモ介護 サービス 事業	ASMO CATERING (HK) 事業	計
売上高						
外部顧客への売上高	3,583	3,272,965	5,641,593	4,157,364	1,845,078	14,920,585
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	48,166	191,218	—	—	239,385
計	3,583	3,321,131	5,832,812	4,157,364	1,845,078	15,159,970
セグメント利益又は損失(△)	△153,399	84,033	169,037	130,733	2,753	233,159

(単位:千円)

	その他 (注)1、2	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高				
外部顧客への売上高	—	14,920,585	—	14,920,585
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	239,385	△239,385	—
計	—	15,159,970	△239,385	14,920,585
セグメント利益又は損失(△)	△194	232,965	△329	232,635

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント(ASMO CATERING(TAIWAN)事業)であり、現在当該事業を休止しております。

(注) 2 「その他」を形成していた連結子会社サーバントラスト信託株式会社の管理型信託事業について、当社が保有する同社の全株式を2022年5月27日付で譲渡したことに伴い、第1四半期連結会計期間の期首をみなし譲渡日として連結の範囲から除外しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	233,159
「その他」の区分の損失(△)	△194
セグメント間取引消去	△329
四半期連結損益計算書の営業利益	232,635

II 当第3四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					計
	アスモ 事業	アスモトレ ーディング 事業	アスモフ ードサービ ス事業	アスモ介 護サービ ス事業	ASMO CATERING (HK)事業	
売上高						
外部顧客への売上高	3,583	3,443,164	5,876,291	4,270,207	1,880,716	15,473,962
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	30,513	203,517	—	—	234,031
計	3,583	3,473,677	6,079,809	4,270,207	1,880,716	15,707,994
セグメント利益又は損失(△)	△160,191	63,685	238,067	360,807	△42,263	460,107

(単位:千円)

	その他 (注)	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
売上高				
外部顧客への売上高	—	15,473,962	—	15,473,962
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	234,031	△234,031	—
計	—	15,707,994	△234,031	15,473,962
セグメント利益又は損失(△)	△197	459,909	294	460,204

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメント(ASMO CATERING(TAIWAN)事業)であり、現在当該事業を休止しております。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	460,107
「その他」の区分の損失(△)	△197
セグメント間取引消去	294
四半期連結損益計算書の営業利益	460,204

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報

当社の売上高は、主に顧客との契約から認識された収益であり、当社グループの報告セグメントを財又はサービスの種類別に分解した場合の内訳は、以下のとおりです。

前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	アスモ事業	アスモトレーディング事業	アスモフードサービス事業	アスモ介護サービス事業	ASMO CATERING (HK) 事業	
食肉販売	—	2,923,201	—	—	—	2,923,201
加工商品の販売	—	349,763	—	—	—	349,763
給食提供サービス	—	—	5,641,593	—	—	5,641,593
介護サービス	—	—	—	3,519,828	—	3,519,828
運営する介護施設でのサービス	—	—	—	272,210	—	272,210
飲食店舗（香港）	—	—	—	—	1,193,645	1,193,645
食品加工販売（香港）	—	—	—	—	616,442	616,442
その他	—	—	—	110,900	34,989	145,890
顧客との契約から生じる収益	—	3,272,965	5,641,593	3,902,939	1,845,078	14,662,577
その他の収益	3,583	—	—	254,425	—	258,008
外部顧客への売上高	3,583	3,272,965	5,641,593	4,157,364	1,845,078	14,920,585

当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	アスモ事業	アスモトレーディング事業	アスモフードサービス事業	アスモ介護サービス事業	ASMO CATERING (HK) 事業	
食肉販売	—	3,179,203	—	—	—	3,179,203
加工商品の販売	—	263,960	—	—	—	263,960
給食提供サービス	—	—	5,876,291	—	—	5,876,291
介護サービス	—	—	—	3,603,451	—	3,603,451
運営する介護施設でのサービス	—	—	—	300,585	—	300,585
飲食店舗（香港）	—	—	—	—	955,151	955,151
食品加工販売（香港）	—	—	—	—	782,594	782,594
その他	—	—	—	86,251	142,969	229,221
顧客との契約から生じる収益	—	3,443,164	5,876,291	3,990,288	1,880,716	15,190,460
その他の収益	3,583	—	—	279,918	—	283,502
外部顧客への売上高	3,583	3,443,164	5,876,291	4,270,207	1,880,716	15,473,962